

故土山牧民先生

記念礼拝

令和4年6月25日(土) 14時20分

玉川学園礼拝堂

玉川大学・玉川学園 学友会

故 土山牧民先生 記念礼拝 發起人

山岡好夫（農学部農学科1980年卒業）

大野(松浦)太郎（文学部英米文学科1982年卒業）

杉山倫也（文学研究科教育学専攻博士課程1995年修了）

雨宮(小池)聖子（文学研究科教育学専攻修士課程2002年修了）

式次第

司式：菊池重雄
奏楽：千葉葉子

前	奏	
招	詞	
聖	書	テサロニケの信徒への手紙一 4:13-18
讚	美	歌
		301番「やまべにむかいてわれ」
祈	禱	
音	楽	「最愛のイエスよ、我らここに集いて」 BWV.731 J.S.バッハ作曲
聖	書	ヨハネによる福音書 12:23-26
奨	励	
音	楽	讚美歌 488番「はるかにあおぎみる」
思	い	出
		杉山倫也 様
		中野 冊 様
		佐藤久雄 様
讚	美	歌
		405番「かみともにいまして」
祝	禱	
後	奏	
謝	辞	

テサロニケの信徒への手紙一 4:13-18

兄弟たち、既に眠りについた人たちについては、希望を持たないほかの人々のように嘆き悲しまないために、ぜひ次のことを知っておいてほしい。イエスが死んで復活されたと、わたしたちは信じています。神は同じように、イエスを信じて眠りについた人たちをも、イエスと一緒に導き出してください。

主の言葉に基づいて次のことを伝えます。主が来られる日まで生き残るわたしたちが、眠りについた人たちより先になることは、決してありません。すなわち、合図の号令がかかり、大天使の声が聞こえて、神のラッパが鳴り響くと、主御自身が天から降って来られます。すると、キリストに結ばれて死んだ人たちが、まず最初に復活し、それから、わたしたち生き残っている者が、空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます。このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることになります。ですから、今述べた言葉によって励まし合いなさい。

讚美歌301番「やまべにむかいてわれ」

1. 山べにむかいてわれ 目をあぐ、
助けはいずかたより きたるか。
あめつちのみかみより
たすけぞわれにきたる。
2. み神は汝の足を つよくす、
み守りあれば汝は うごかじ。
みたみをば守るもの
まどろみねむりまさじ。
3. み神はあだをふせぐ たてなり、
汝が身をつねに守る かげなり。
よるは月、ひるは日も
汝をばそこなうまじ。
4. み神はわざわいをも、さけしめ
疲れしたましいをも やすます。
いずるおり、いるおりも、
たえせず汝を守らん。

ヨハネによる福音書 12:23-26

イエスはこうお答えになった。「人の子が栄光を受ける時が来た。はっきり
言っておく。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。
だが、死ねば、多くの実を結ぶ。自分の命を愛する者は、それを失うが、この世
で自分の命を憎む人は、それを保って永遠の命に至る。わたしに仕えようと
する者は、わたしに従え。そうすれば、わたしのいるところに、わたしに
仕える者もいることになる。わたしに仕える者がいれば、父はその人を大切
にしてくださる。」

讚美歌488番「はるかにあおぎみる」

1. はるかにあおぎ見る
かがやきのみくには、
父のそなえましし
たのしきすみかあり。

2. かがやくみくにて、
うきもなやみもなく、
たのしきこえあわせ、
たえずともにうたわん。

(おりかえし)

われらついに
かがやくみくにて
きよきたみと
ともにみまえにあわん。

3. ちちのあいあふれて、
さいわい身にあまる
ゆたかなるめぐみを
とこしなえにたたえん。

讚美歌405番「かみともにいまして」

1. かみともにいまして
ゆく道をまもり、
あめの御糧もて
ちからをあたえませ。

2 荒野をゆくときも、
あらし吹くときも、
ゆくてをしめして、
たえずみちびきませ。

(おりかえし)

また会う日まで、
また会う日まで、
かみのまもり
汝が身を離れざれ。

3. 御門にいる日まで、
いつくしみひろき
みつばさのかげに、
たえずはぐくみませ。

略 歴

- 昭和 4年 8月24日生
- 昭和19年 大阪府立富田林中学校2年修了後中退
十四期海軍飛行予科練習生として入隊
- 昭和20年 海軍二等飛行兵曹 終戦を迎え復員 玉川学園へ
- 昭和21年 玉川学園旧制中学部卒業、玉川工業専門学校入学
- 昭和24年 玉川工業専門学校機械科卒業、旧制玉川大学予科編入
学制変更に伴い新制玉川大学文学部教育学科編入・中退
デンマーク体操指導者資格(O.T.D.章)
- 昭和28年 グリーンビル大学卒業
- 昭和32年 プリンストン神学大学院修了
- 昭和33年 大阪基督教短期大学講師・助教授
- 昭和34年 鳳教会 牧師
- 昭和38年 (財) 淀川善隣館複総主事
- 昭和45年 ノースウェスタン大学大学院修了
- 昭和53年 「小原國芳教育論における『全人』の概念の分析と再構成」
により哲学博士 (Ph.D.) 取得
- 昭和44年 玉川大学文学部助教授
- 昭和49年 玉川大学文学部教授
玉川学園高等部非常勤講師 (兼任)
玉川大学塾主任 (12月1日より昭和54年9月まで)
- 昭和55年 玉川大学大学院文学研究科修士課程講義担当
- 昭和56年 大和キリスト教会牧師
- 昭和59年 玉川大学大学院文学研究科修士課程研究指導及び講義担当
- 昭和63年 玉川大学大学院文学研究科博士課程後期講義担当
- 平成 2年 玉川大学大学院文学研究科博士課程後期研究指導及び講義担当
- 平成 7年 定年退職
- 平成 8年 大和キリスト教会名誉牧師
洲本教会牧師
- 晩年、やすらぎの介護シャローム (株) グループホーム ノア礼拝に出席、洗礼を授ける
- 令和 3年 召天 (6月24日、享年91歳)

